



Pioneer Spirits

開拓魂(自主・創造・協力・根性)

- 11月の目標
- 生活目標 物を大切にしよう・服装を整えよう
 - 図書館目標 職業に関する本を読もう
 - 保健目標 姿勢を正しくしよう

〒907-0021 石垣市名蔵243 ☎(0980)82-4113 FAX 82-4200

学校教育目標

○自ら学び 心ゆたか たくましい児童生徒

めざす児童生徒像

- 夢や希望をもち、よく考え、自ら学ぶ児童生徒
- 思いやりの心で仲良く協力する児童生徒
- 健康な心と体で、粘り強く挑戦する児童生徒

学校経営目標

- 一人一人を大切に、安心・安全な教育環境の充実
- 児童生徒一人一人の夢や希望を育み、その実現の土台となる確かな学力の定着(指導法の工夫改善・充実)
- 9カ年を見通した小中連携(発達段階に応じた系統的・継続的な細かな指導)の推進
- 開かれた学校による保護者・地域に信頼される学校づくり

●11月の行事予定(※10月31日現在)

※コロナの状況に応じて日程が変更になる場合もあります。

2日(水)	信泉プロジェクト教職員研修会(PM)
3日(木)	文化の日
4日(金)	漢検(希望者の中のみ)
7日(月)	アンパル清掃
9日(水)	発表集会(小)、生徒会集会(中)、校内研修⑥ 商工定時制説明会
10日(木)	授業参観(2・3校時)、ALT(中)
14日(月)	期末テスト(中)～16日、就学時検診
16日(水)	校長講話(小)、委員会活動
17日(木)	中文祭発表集会
18日(金)	中文祭りハーサル(PM)
19日(土)	八重山地区中学校総合文化祭
20日(日)	修学旅行5・6年(小)
21日(月)	修学旅行5・6年(小)、振替休日(中)
22日(火)	振替休日5・6年(小)、ALT(中)
23日(水)	勤労感謝の日
24日(木)	スピーチ集会(中)
27日(日)	第2回PTA作業(文化班)
28日(月)	進路講話(中3)、ALT(中)
29日(火)	大浜中と交流学習(中3)～30日
30日(水)	職員会議②、編成会議①

●12月の行事予定(※10月31日現在)

※コロナの状況に応じて日程が変更になる場合もあります。

1日(木)	地域講話、校内研修⑦
5日(月)	クラブ⑧
7日(水)	委員会集会(小)、委員会活動
10日(土)	中体連新人大会(バド先行開催)～11日
12日(月)	個人面談①(中のみ)
13日(火)	個人面談②(中のみ)、クリーンタイム
14日(水)	個人面談③(中のみ)、発表集会(小) クリーンタイム
15日(木)	標準学力調査(中)
16日(金)	標準学力調査(小中)、生徒会選挙
21日(水)	スピーチ集会(中)、職員会議③、編成会議②
22日(木)	クリスマス会(小)
23日(金)	二学期終業式
26日(月)	冬休み
28日(水)	仕事納め
29日(木)	年始年末休(～3日)

●地域の協力

10/20(木)に當銘幸和さん(大永建設)が幼稚園横の草置き場を重機で整地していただきました。感謝!

●10月の様子

10/2 地区駅伝

女子は単独で男子は黒島校と合同で出場することができました。女子・男子共にスポーツに参加することの意義や仲間と「襷」をつなぐ意味を確認した大会になりました。



10/3 読書月間OP集会

読書月間スタートにあたり図書委員会から月間中の取り組みを確認しました。委員からは、おすすめの一冊などの紹介もあり、月間中にたくさんの本と出会ってほしいです。



10/7 ハーリー体験

中一組の協力のもと、小学校全児童でハーリー体験を実施することができました。魚の生態や養殖について、ハーリー体験、マグロの解体など盛りだくさんの内容でした。



10/26 ジョブシャドウイング

今年度、川原小学校と合同での実施となり、事前学習や当日の各事業所での職場を見学を通して、また他校と交流を図りながらキャリア教育の充実を図ることができました。



10/26 中ハロウィンパーティー

中学校では、生徒会が計画をして自分達でハロウィンパーティーを開催。一人一人が仮装をし、趣向をこらした時間となりました。トリック・オア・トリート!



10/28 小ハロウィンパーティー

小学校も児童会が計画をして自分達でハロウィンパーティーを開催。宝探しやじゃんけん列車などを通して、みんなで楽しみました。自分達で考え実行できる名蔵っ子です。





Pioneer Spirits

開拓魂(自主・創造・協力・根性)

11月の目標

生活目標 物を大切にしよう・服装を整えよう
 図書館目標 職業に関する本を読もう
 保健目標 姿勢を正しくしよう

〒907-0021 石垣市名蔵243 ☎(0980)82-4113 FAX 82-4200

学校教育目標

○自ら学び 心ゆたか たくましい児童生徒

めざす児童生徒像

- 夢や希望をもち、よく考え、自ら学ぶ児童生徒
- 思いやりの心で仲良く協力する児童生徒
- 健康な心と体で、粘り強く挑戦する児童生徒

学校経営目標

- 1 一人一人を大切に、安心・安全な教育環境の充実
- 2 児童生徒一人一人の夢や希望を育み、その実現の土台となる確かな学力の定着(指導法の工夫改善・充実)
- 3 9カ年を見通した小中連携(発達段階に応じた系統的・継続的な細かな指導)の推進
- 4 開かれた学校による保護者・地域に信頼される学校づくり

●朝の校門で...その①

10月5日(水)の校長講話の後に子ども達に登下校の際の乗り降り場所について確認をしました。一学期に保護者あてにお知らせを配布していますが、皆さんからも登下校の際に確認してほしいという旨のお話をしました。翌朝小雨の中、校門前に入ろうとした車がハンドルを切り返し、幼稚園の駐車場へ向かいました。その後、生徒に聞くと「ちゃんと言いましたよ」と。昨日の話をすぐ行動に切り替える中学生にはとても感心しました。立派だと思います。また、その一言を受け止めていただいた保護者のご理解・ご協力にも感謝です。

今年度の一学期途中から「登下校の際の乗り降りについて」のお知らせを出ささせていただきました。それにより雨天時等は、幼稚園の駐車場や体育館側の駐車場で乗り降りをしていただくようになり、校門前の県道211号線の安全面での確保が改善されつつあります。保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。

●朝の校門で...その②

「校長先生！あそこのフェンスにオオゴマダラの幼虫がいるよ！」と低学年の児童が教えてくれました。そこは、いつも朝の横断歩道を渡る子ども達の安全確認をする時にそのフェンスの前を通っているところです。幼虫がいるとは気づかずにいました。よく見てみるとそこにオオゴマダラの幼虫2匹が食草である蓬萊鏡(ほうらいかがみ)にいました。子ども達目線でよく見ているなと思いました。日頃の活動でも子ども達の視線を考え、行動することも必要だと改めて感じた今日この頃です。オオゴマダラの食草である蓬萊鏡(ほうらいかがみ)は、石垣市からの寄贈で3株植え付け、今では、オオゴマダラの成虫や幼虫が見られるようになりました。



10月6日(木)



9月30日(金)

●名蔵っ子の成長の伸びしろはスゴイ！

夏休み明け、久しぶりに子ども達の元気な笑顔を見ることができた。短い練習期間ではあったが、大きな行事である運動会を無事終えることができ、学級単位でのこれまでの学習の成果がはっきりと見られた。日頃の学校での朝ボラ、朝の読書、授業、昼休みに運動場を駆け回る小学生、中学生は中体連に向けた取り組み等が毎日の積み重ねとなって個々の成長へと着実に繋がっている。

●子どもの考える力は対話で伸びる

ジェイソンさんご自身は家庭では、どのようにお子さんと接していますか？



家事などは、奥さんに任せてしまっている部分が多いけれど、僕の両親が必ずしてくれたように、子どもと一緒に食卓を囲む時間を大切にしていますね。そのときに「今日どうだった？」みたいな会話をたくさんすることで、本人の意思や考えをきちんと言えるように育てています。また、節約を通して自分を律することを教えています。例えば、自動販売機で飲み物が欲しいとおねだりされたときに、「あのスーパーならもっと安く買えるけれど、どうする？」と言葉をかけるのです。子どもには、今どうすることが自分にとって良いのか、自分で考えて選択するようにさせています。

共済フォーラム 2020年12月号

「リレー連載 先生と私 第27回」より抜粋
厚切りジェイソン(お笑いタレント・IT企業役員)

●「教える」ということ

数年前に、ある高校生と公開対談をしたことがあります。なんと中学生で会社をつくって社長になり、活動をしている女性です。中学生でベンチャー企業を起こした人と、還暦でベンチャーを創業した僕、という組み合わせで話をしました。対談の終わりにその高校生のご両親に対して、「どんな教育をしたのか聞きたい」という質問が会場から出ると、彼女はスッとマイクを取って、代わりに答えました。

「お父さんもお母さんも何も言わなかったけれど、私がお菓子が欲しいとねだったときは、『なんでお菓子が欲しいの?』と聞いてきた。そして、なんで欲しいのかを説明できなかつたら、買ってもらえなかった」というものでした。「なんでしたいの?なんで欲しいの?どうして?」と聞かれたので、小学生のころからその答えを探すようになったということです。そうした経験は何も特別なことではありませんし、それがすべてではないかもしれませんが、彼女にとっては「自分の頭で考えて、答えを探す」ことが習慣づけられるきっかけになったのではないのでしょうか。そして、そのように「自分の頭で考えさせる」きっかけとなる問いかけは家庭の外で、つまり学校でこそもっとも行うべきことではないでしょうか。

「教える」ということ 著者 出口治明 R2.5.1より抜粋

立命館アジア太平洋大学 学長/ライフネット生命創業者